

＜統計は文章力＞  
「分析力」の中核

p.6 問に対する回答例

全国対都内の比較をしてみると、発生件数では 10.6 対 1、死者数では 22.1 対 1、負傷者数では 11.5 対 1 で、都内では全国との比較で死亡事故の頻度がほぼ半分であることがわかる。これには都市の過密による交通渋滞、速度低下、あるいは交通安全設備の強化、住民の安全意識の徹底などが可能な原因として考えられるが、このデータだけでは特定できない。

さらに発生件数対負傷者数の比では、全国、都内でそれぞれ 1 対 2.5、1 対 1.17 で、事故 1 件あたり 1 人強が負傷している。それは運転者自身（あるいは同乗者）あるいは通行人あるいは関係車の運転者、同乗者であろう。しいていえば全国の方が負傷者がわずかに出やすいが、これは運転者自身の負傷が多いためであろう。負傷者対死者数の比較は、全国で 140 人に 1 人、都内では 269 人に 1 人 で、やはり都内では相対的に死亡事故が、対者では半分以下となっている。これは発生件数でもいえて、全国で 113 件で 1 人、都内で 235 件に 1 人 となっている。(12行,433字)

ポイント 比、対、それぞれ、対して、データで、比較で、多い・少ない、強・弱、わずかに、特定できない、etc.

traffic